

医学部

医学教育プログラム ■全人的医療実践人育成

取得できる学位 ★学士（医学）

■ プログラムの概要

「医学を通して人類の幸福に貢献する」という教育理念に基づき、温かな人間性と豊かな国際性を持つ医療人、医学研究者を育成するために、教養教育から専門教育まで一貫とした人間性重視の教育を行い、高度な医療能力につながる医学の習得を目指すプログラムである。以下に掲げる人材の育成を教育目標としている。

- ・豊かな人間性と高い倫理性を備え、全人的医療に貢献できる人材の育成
- ・高度の専門性を持つ医療チームの一員として貢献できる人材の育成
- ・広い視野と高い向学心を有する医学研究者・教育者となり得る人材の育成
- ・保健、医療、福祉、厚生行政に貢献できる人材の育成
- ・地域の医療に貢献するとともに、国際的に活躍できる人材の育成
- ・探求心、研究心、自ら学ぶ態度を生涯持ちつづける人材の育成

■ 人材育成目標

医学教育プログラムでは

1. 豊かな人間性と高い倫理性を備え、全人的医療に貢献できる人材の育成
2. 高度の専門性を持つ医療チームの一員として貢献できる人材の育成
3. 広い視野と高い向学心を有する医学研究者・教育者となり得る人材の育成
4. 保健、医療、福祉、厚生行政に貢献できる人材の育成
5. 地域の医療に貢献するとともに、国際的に活躍できる人材の育成
6. 探求心、研究心、自ら学ぶ態度を生涯持ちつづける人材の育成

以上の資質を有する人材の育成をめざしている。

■ プログラムの到達目標（期待される学修成果）

| 1 | 知識・理解

a) 以下の医学に関する知識を有し実践に應用できる。

1. 各臓器の構造と機能
2. 心理、行動
3. 病態生理
4. 診断と治療
5. 疫学
6. 医薬品と薬理作用
7. 医療機器
8. 医療行政（予防、保健、福祉、医療）
9. 医療経済

| 2 | 当該分野固有の能力

a) 基本的な診療を指導医の監督下で実践できる。

1. 基本的診察と手技ができる。
2. 診断と治療に必要な検査を選択し、データを解釈できる。
3. 適切な診断ができる。
4. 適切な治療計画が立てられる。
5. 診療記録を適切に記載し、プレゼンテーションできる。
6. チーム医療の重要性を理解し、安全な医療を実践できる。

b) 保健・医療・福祉に関する制度や業務を理解し、その改善に貢献できる。

1. 疾病の予防に貢献できる。
2. 患者への健康教育を実践できる。
3. 地域の保健指導を実践できる。
4. 検診、スクリーニングの重要性を理解し実践ができる。
5. 厚生・行政の概要を理解し役割を果たすことができる。
6. 社会福祉、保険制度を理解し実践できる。

c) 国際的な視野をもちつつ、地域の実情に合った医療を実践できる。

1. 地域の実情（伝統や風習）を踏まえた地域医療を実践できる。
2. 語学に堪能で国際的な視野をもって行動できる。
3. 国際保健に関心をよせ情報収集し、課題解決に取り組める。
4. 海外の学生と積極的に交流できる。

| 3 | 汎用的能力

a) 患者・家族及び医療従事者間で適切なコミュニケーションをとることができる。

1. 患者・家族、医師及び他医療職種と良好な関係を形成し、正確な情報の収集・伝達ができる。
2. 患者・家族に傾聴、共感、支持的態度を示し、適切な診療ができる。
3. 英語を用いて患者と基本的なコミュニケーションをとることができる。

b) 基礎・臨床研究に興味をもち、自ら問題を発見し、論理的思考で問題解決をはかることができる。

1. 基礎・臨床研究に興味をもち、研究に取り組むことができる。
2. 自ら未知・未解決な問題を発見し、論理的思考により研究を推進し、問題解決できる。
3. 研究についてプレゼンテーションができ、新しい知見を発信できる。

| 4 | 態度・姿勢

a) 患者・利用者の価値観や背景を理解し、個別性を尊重できる。プロフェッショナルにふさわしい倫理観をもち、礼節ある態度を示すことができる。

1. 法的責任・規範を遵守できる。
2. 患者中心の視点をもち、利他的、共感的に対応できる。
3. 多様な価値観や文化的背景を理解し患者・利用者の個別性に配慮できる。
4. 患者・利用者に対して正直、誠実であり、礼儀正しく振る舞うことができる。
5. 研究・医療倫理、医療安全、守秘義務、説明責任を理解し実践できる。

b) 生涯にわたり自ら学ぶ態度をもち、自己研鑽を続けることができる。

1. 自己主導型学習により課題を設定し、その解決のために正しく情報を検索し、課題解決できる。
2. 自己評価と振り返りを通して生涯学習を継続できる。
3. 現場での実践を通して自己の向上を図ることができる。
4. 探求心、向学心、向上心をもち続けられる。

■ ■ プログラムの履修要件

- ・高等学校卒業レベルの基礎学力を十分に有する人
- ・医学を学ぶ上で重要な科目への高い理解力と応用力を有する人
- ・良き医療人・医者になるための強い学習意欲と科学的探求心を有する人
- ・協調性に富み、豊かな教養と人間性を有する人
- ・広い視野を有し、積極的に行動できる人

■ ■ カリキュラム立案と学修方法についての基本方針

医学科の教育理念と教育目標に基づき、学位授与の方針に合致した人材を育成するために、共通教育科目と専門教育科目を体系的に編成し、能動的学修（アクティブ・ラーニング）の機会を全学年で設けると共に、先端医学、社会的要請、国際基準に対応する教育課程を編成・実施する。